

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	新生児に対してより良い輸血療法を提供するための研究 (新生児に対する血液製剤の最適条件の検討)
研究期間（西暦）	2019年4月～2023年3月
研究機関名	信州大学医学部附属病院輸血部
研究責任者職氏名	准教授 柳沢龍

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

新生児医療においても、輸血は大変重要な治療法の一つです。しかし、新生児は体が小さく必要とする血液量も成人とは大きく異なるため、血液製剤を適切な条件で維持しながら、各新生児に合わせた方法で輸血する必要があります。この研究では、どのような条件であれば貴重な血液製剤の品質を落とすことなく新生児に輸血できるかを検討します。この研究によって新生児に対して、より安全かつ効率的な輸血を提供できる可能性があり、更に貴重な血液製剤を無駄なく使用するための情報を多くの施設に提供できる可能性があります。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液等の種類：赤血球（規格外）、血小板（規格外）

献血血液等の情報：なし

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：行いません。 行います。

《研究方法》

血液製剤を様々な条件（振とうの有無、洗浄液添加の有無、静置時間の長さ、保存容器の相違、保存温度の相違等）で保存し、血液ガス、生化学、血算、フローサイトメトリーによる血小板活性化マーカー等の結果を比較することで、新生児輸血に対しても最も適合していると考えられる条件を特定します。

5 献血血液等の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

6 上記5を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

本研究に関する問い合わせ先

所属	信州大学医学部附属病院輸血部
担当者	小嶋 俊介
電話	0263-37-3240
Mail	kojishun@shinshu-u.ac.jp